

取扱説明書

DUAL GAUGE PRO

OBD接続、パワードライブ対応品

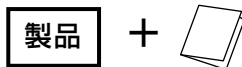
ブースト+デジタル

DPB-X2

**本製品をパワードライブと併用する場合は
3ページの「表示切り換えと設定」をご覧ください。**

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

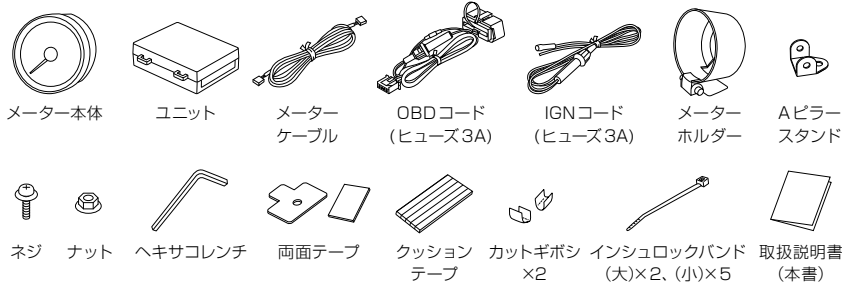
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
各部の名称と表示の種類	1~2
配線接続方法	2
製品の固定	2~3
基本操作方法	3
表示切り換えと設定	3
照明色の切り換え方法	4
照明の明るさ調整	4
故障かな?と思ったら	4
(センサー装着による接続方法)	4

内容物をご確認ください



1. 本製品とOBD接続する他社製品および弊社一部製品との併用はできません。
2. 弊社OBD接続品との併用はこちらをご覧ください。 ⇒ <https://pivotjp.com/obd/>

警告

下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品の固定、配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意

下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

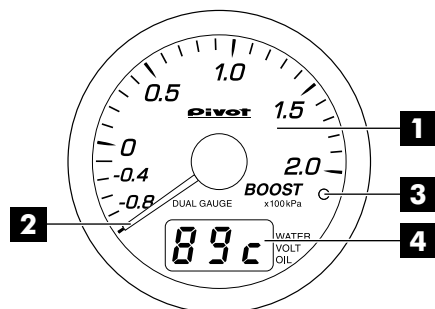
- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

- 本製品は配管や配線作業が不要でOBDに簡単接続で表示できるメーターです。
- サブコン「POWER DRIVE」と併用してもブースト表示に誤差のない新表示方式採用。(特許出願済み)

各部の名称と表示の種類

【メーター】

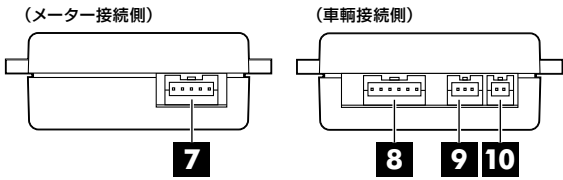


- 1 アナログ表示部
ブーストのデータを表示
- 2 針
現在の数値やピーク値を表示
- 3 スイッチ
デジタル部の表示切り換え・ピーク値の表示とリセット
- 4 デジタル表示部
複数のデータを切り換え表示
- 5 イルミ (夜間照明)
表示中イルミは常時点灯・3段階調光可能

アナログ表示部	文字・針：白 or 青 (切り換え可能)
デジタル表示部	赤
アナログ表示部	ブースト (OBD) [-100 ~ 154 kPa] ブースト (センサー) [-100 ~ 200 kPa] ※
デジタル表示部	水温 [-35 ~ 150 °C] 電圧 [8V ~ 18V] 油温 [-35 ~ 150 °C] ※

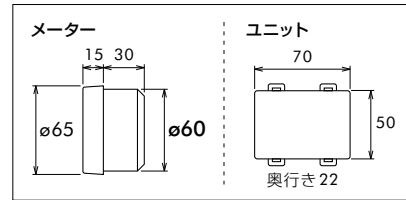
※ 別売センサー接続時

[ユニット]



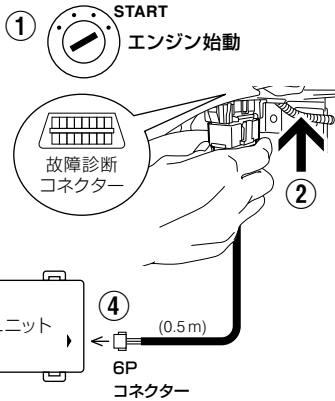
- 7** メーター用コネクタ
メーターケーブルを接続
- 8** 電源用コネクタ
OBDコードを接続
- 9** ブースト用コネクタ
別売ブーストセンサーを接続
- 10** 油温用コネクタ
別売油温センサーを接続

サイズ [単位:mm]

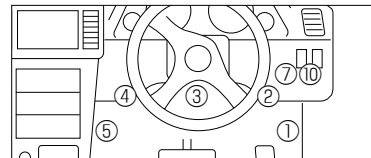


配線接続方法

- ① エンジンを始動する。
- ② OBDコネクタを故障診断コネクタに差し込む。
- ③ メーターケーブルの4Pコネクタをメーター背面に差し込む。
- ④ メーターケーブルの5PコネクタとOBDコードの6Pコネクタをユニットへ差し込む。



故障診断コネクタ位置図



トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩
日産	①②③④⑤⑦	スバル	②③
ホンダ	②④⑥	スズキ	②④
三菱	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤

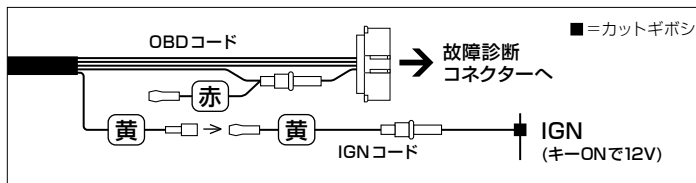
- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右脇
- ⑥ ステアリング脇パネル裏 (フタ付の場合あり)
- ⑦ ステアリング脇パネル (フタ付)
- ⑧ ステアリング右パネル (小物入れ上部)

電源をIGN接続する場合 (対応車表に記載がある車種、又は作動に支障がある車種)

メーターの起動と停止は電源接続方法で異なります。

常時 (IGNコード使用なし)	IGN (IGNコード使用)
ECUに連動	キースイッチに連動

●OBDコードの(赤)と(黄)コードのコネクタを抜き、(黄)コードのコネクタにIGNコードを接続し車両のIGNへ接続。(ACC不可)



OBDコネクタ取扱時の注意点

差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

注意
コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合
車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。

その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。

カットギボシの使い方

<p>1 10mm</p> <p>接続するコードの被ひくをむく。</p>	<p>2 10mm</p> <p>製品コード先端の被ひくをむく。</p>	<p>3</p> <p>両方の芯線を絡める。</p>	<p>4</p> <p>確実にかしめる。</p>	<p>5</p> <p>ビニールテープで絶縁する。</p>	<p>かしめる際は圧着ベンチを使用するか、ベンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。</p>
---	---	-----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	--

製品の固定

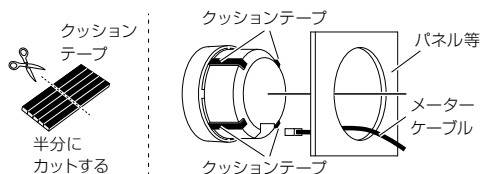
メーターの固定

A メーターホルダーを使用する場合

- ① メーターホルダーを両面テープで固定する。
両面テープ
汚れ・油分をキレイにする
※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。
- ② ネジを少しゆるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを締め固定する。
六角穴付ネジ
- ③ メーターにクッションテープを貼りメーターケーブルを接続しメーターホルダーに差し込む。抜けやすい場合等はクッションテープを追加してください。
クッションテープ
メーターホルダー
クッションテープ
メーターケーブル
メーター背面
コネクタ

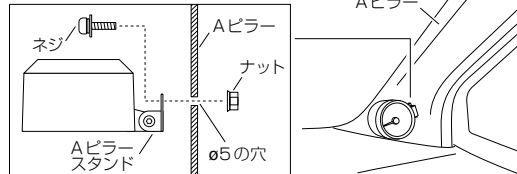
B パネル等に埋め込む場合

クッションテープを半分にカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、メーターケーブルを接続しパネル等に差し込む。



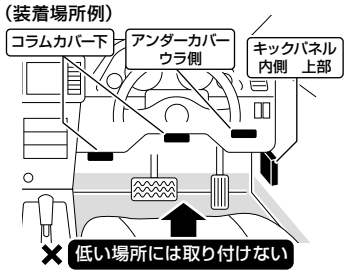
C Aピラースタンドを使用してAピラーへ取り付ける場合

Aピラーの取り付けたい位置にφ5の穴を開け、Aピラースタンドを使用しネジとナットで固定します。

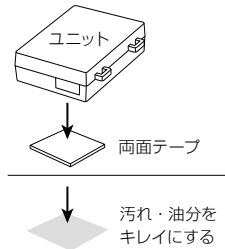


ユニットの固定

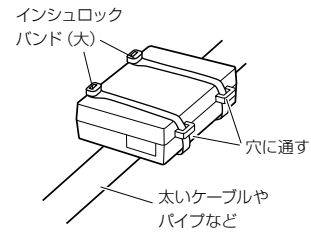
右図のような、水のかからない場所に固定してください。



平面に固定する



ケーブルやパイプなどに固定する



基本操作方法

- 1 エンジンを始動する
- 2 オープニングデモ
- 3 各表示
- 4 エンジンを停止する
- 5 メーター OFF 針は最低値付近で止まります。

オープニングデモ

- キー ON 時に針の位置を検出するため、もっとも左側の位置へ数回回し、その後最大値を指し、表示項目に移行します。
- 車輛側との通信の関係上、エンジン始動後オープニングデモまで数秒かかる場合があります。(IGN 接続時は除く)

表示部の消灯について

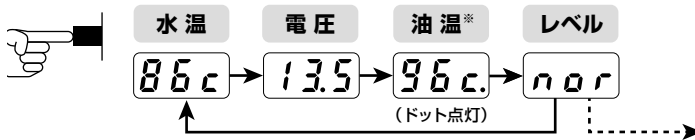
- 車輛側との通信の関係上、エンジン停止から表示が OFF (消灯) するまで最長1分かかりますが、正常な動作でクルマ側への負担は一切ありません。(IGN 接続時は除く)

表示切り換えと設定

パワードライブと併用する場合はレベルの設定を行ってください。

デジタル表示の切り換え

メーター作動中、スイッチを押すごとに切り換わる

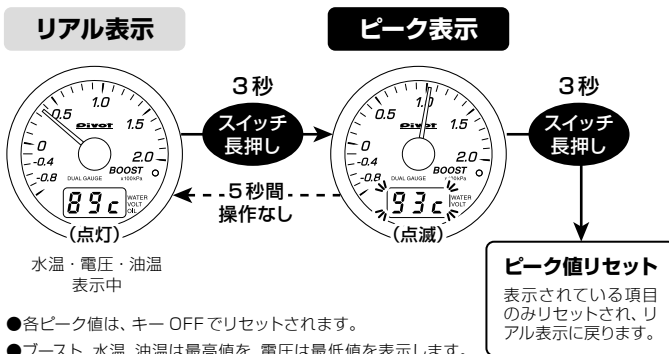


※ 別売温度センサー使用時のみ表示

水温 / 油温表示の見かた

-35 ~ -1°C 左の7セグが- (マイナス) - 00	0 ~ 99°C 右の7セグが°C 00°C	100 ~ 150°C 数値のみの表示 100
--------------------------------------	------------------------------	-------------------------------

ピーク値の表示とリセット



- 各ピーク値は、キー OFF でリセットされます。
- ブースト、水温、油温は最高値を、電圧は最低値を表示します。
- スターター作動時の下降電圧を確認したい場合は、キーを ON にし、デジタル部表示後にスターターを作動させてください。(IGN 接続の場合のみ)

レベルの設定方法

別売ブーストセンサー接続の場合、レベルの設定は不要

- ①レベル表示中にスイッチを3秒長押し
- ②現在のレベル表示が点滅に切り換わる
- ③スイッチを押すごとにレベルが切り換わる
- ④5秒間操作なしで設定完了

パワードライブ品番	パワードライブで設定したレベル	メーター側で設定するレベル	対応車
ダイハツ専用 PDX-D1 D-SPORT コラボモデル 品番: 89561-E240	1~3	d 1	コベン ムーヴ キャスト など
	4~6	d 2	
	7~9	d 3	
ホンダ専用 PDX-H1	1~3	H 1	S660 N-BOX (JF1/2) など
	4~6	H 2	
	7~9	H 3	
ホンダ専用 PDX-H2	1~3	H 4	N-BOX (JF3/4)
	4~6	H 5	
	7~9	H 6	
スズキ専用 PDX-S1	1~3	b 1	ジムニー (JB64W)
	4~6	b 2	
	7~9	b 3	
スズキ専用 PDX-S2	1~3	b 4	スイフト スポーツ (ZC33S)
	4~6	b 5	
	7~9	b 6	
トヨタ、ダイハツ、 スバル専用 PDX-A1	1~3	A 1	タンク ルーミー トール ジャスティ
	4~6	A 2	
	7~9	A 3	
パワードライブ未使用 or 0 (ノーマル)		nor	

矢印は設定変更順を表しています。

照明色の切り換え方法

- 1 + エンジン始動
メーター消灯時にスイッチを押したままエンジンを始動する
 - 2 現在の照明色の設定がデジタル表示部に表示されたら (例 = c-1) スwitchをはなす
 - 3 スwitchを押すごとに照明色が切り換わる [c-1 = 白、c-2 = 青]
 - 4 設定を合わせたらスswitchをはなす
 - 5 5秒間操作なしで通常表示に戻る
- 設定完了**

照明の明るさ調整

ドアミラーなどに照明が反射し気になる場合などの調整

- 1 メーター動作中 スwitch長押し
 - 2 3秒後にピーク値が表示 6秒後現在の明るさを表示 (例)
 - 3 表示されたらスswitchをはなす
 - 4 スwitchを押すごとに明るさが切り換わる (High) (Mid) (Low)
 - 5 設定を合わせたらスswitchをはなす
 - 6 5秒間操作なしで通常表示に戻る
- 設定完了**

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	メーターケーブル 6Pコネクター OBDコネクター の接続不良。 対応外の車種に取り付けている。	再度ご確認ください。 対応車種表をご確認ください。
始動時に切り換えたデジタル表示から始まらない。	デジタル表示切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	

センサー装着による接続方法 (通常は不要) 一部のデータ計測をセンサーで行う場合

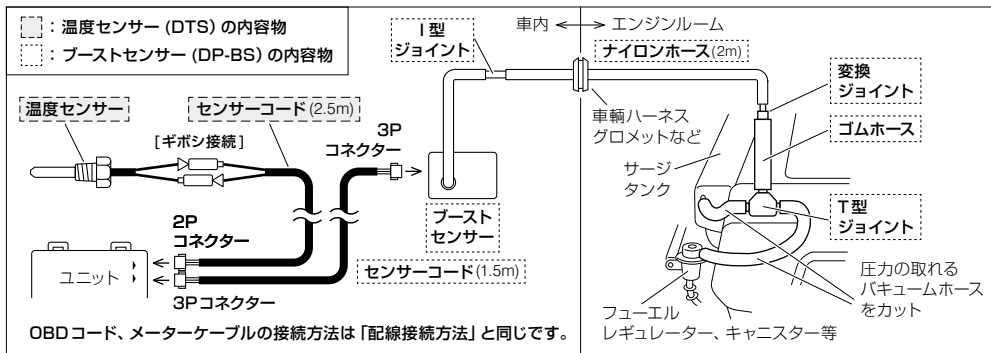
油温を表示させたい場合と、ブーストをセンサーのデータで表示させたい場合は、別売の各センサーを購入し、装着してください。

●温度センサー (DTS ¥3,800・税別)



温度センサーの装着には、取り付ける場所に合ったセンサーアダプター (センサーネジサイズ 1/8PT、市販品可) が必要です。

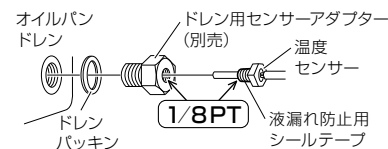
●ブーストセンサー (DP-BS ¥7,800・税別)



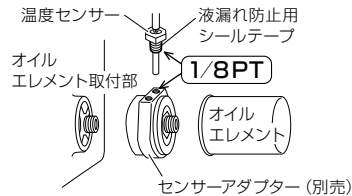
各センサーの取り付け方法

■温度センサー

オイルパンのドレンの場合



オイルエレメント取付部の場合



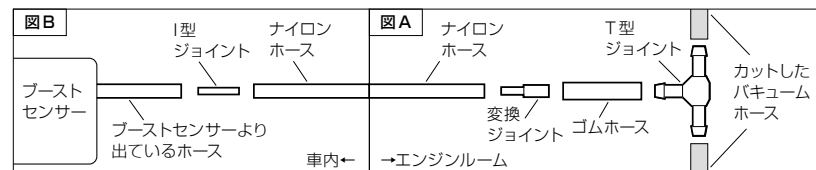
センサーやエレメントが下方方向に突起する場合は、センサーの位置の変更や、ショートオイルエレメントの使用などで対策を行ってください。

■ブーストセンサー

取り付け手順

- 1 エンジンルームで、サージタンクやインテークマニホールドから直接出ていて、圧力の取れるバキュームホースをカットします。(例：燃料レギュレーター、キャニスター等へつながっているホース)
- 2 T型ジョイントを割り込ませ、図Aを参考に、各ホースとジョイントの接続を行います。
- 3 ナイロンホースを車輪ハーネスグロメットなどを利用して車内へ引き込みます。
- 4 引き込んだナイロンホースとユニットのホースをI型ジョイントを使用して接続します。(図B)

ホースやジョイントはそれぞれ確実に接続し、簡単に抜けてしまわないか、圧力漏れはないかなどをご確認ください。(状況によっては、各接続部に抜け防止処理をしてください。)



1. ブーストセンサーは必ず車内に取り付けてください。(エンジンルームは不可)
2. ブーストセンサーから出ているホースを引っばって抜かないでください。
3. 車輪の圧力のとれるホースがφ4以外の場合は、車輪に合ったサイズのジョイントを別途ご用意ください。